

一般環境経由による石綿ばく露の健康リスク評価に関する調査

68百万円(40百万円)

環境保健部企画課石綿健康被害対策室

1. 事業の概要

一般環境経由による石綿ばく露の可能性のあった地域において、石綿ばく露の可能性があった住民を対象に、職歴や居住歴等の詳細な問診、胸部X線検査、胸部CT検査等を実施し、何らかの石綿ばく露に関する医学的な所見が確認され経過観察が必要な方に対しては、定期的に検査(年1回を想定)を行い、適切なフォローアップを行う。

これらを実施することにより得た情報を基に、石綿ばく露の地域的広がりや、石綿関連疾患(中皮腫・肺がんに加えて、胸膜肥厚班、石綿肺などを含む)の発症リスクについて解析を行う。

2. 事業計画

今後の石綿関連施策や救済法の施行に必要なデータを蓄積するため、以下のとおり継続して行う。

平成18年度～

- ・大阪府泉南地域(5市3町)、尼崎市、鳥栖市

平成19年度～

- ・上記3地域(継続) + 新規2地域

3. 施策の効果

一般環境経由で石綿ばく露の可能性があった地域において、石綿ばく露の地域的広がりや石綿関連疾患の発症リスクに関する実態を把握するとともに、対象地域住民の健康増進に資する。

一般環境経由による石綿ばく露の健康リスク評価に関する調査

